

再 評 価 書

事業名	いそべ 磯部都市下水路	事業区分	都市下水路	事業主体	いそ べ ちょう 磯 部 町															
事業概要	工期	昭和53年度 ~ 平成29年度	全体事業費	4,771百万円（負担率：国40、町60）																
事業目的及び内容																				
<p>町の概要</p> <p>磯部町は、伊勢志摩国立公園のほぼ中央に位置し、東はリアス式海岸の的矢湾を経て太平洋に向かって開けております。</p> <p>町域は東西19.98km、南北16.86kmにわたっており、総面積は78.20km²でそのうち56.4%は山林と豊かな緑、深く町の中心まで入りくんだ的矢湾、自然美に恵まれた歴史と観光の町として発展してきました。</p> <p>対象区域</p> <p>はさま あながわ えりはら 追間、穴川、恵利原の3地区であり、約64haを集水区域としています。</p> <p>事業目的</p> <p>当区域は、近鉄志摩磯部駅、三交磯部バスセンター等の拠点と道路網が集中しており、役場、学校等公共施設があることから立地的に町の中心部を形成している地域です。しかし、標高が低く海岸に近い地域であるため降雨時に満潮が重なると自然排水が不能となり鉄道家屋等への浸水被害が深刻な問題となっていました。そのため、雨水排水計画を立案し都市下水路事業によりポンプ施設ならびに排水路の整備を進め、浸水被害の防除を行います。</p> <p>全体計画</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">当初全体計画</th> <th style="text-align: center;">全体計画の見直し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>策定年次</td> <td style="text-align: center;">昭和53年</td> <td style="text-align: center;">平成15年</td> </tr> <tr> <td>集水面積</td> <td style="text-align: center;">約52ha</td> <td style="text-align: center;">約64ha</td> </tr> <tr> <td>水路延長</td> <td style="text-align: center;">972 m (1.00m×1.20m ~ 3.00m×1.50m)</td> <td style="text-align: center;">1,268 m (1.20m×1.50m ~ 4.00m×2.00m)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポンプ場</td> <td style="text-align: center;">磯部ポンプ場（既 設） 立軸ポンプ 600mm×1基 (S58.4月供用開始) 1,350mm×1基 (S63.4月供用開始)</td> <td style="text-align: center;">磯部ポンプ場（既設改築） 立軸ポンプ 600mm×1基 1,350mm×1基 磯部ポンプ場（増 設） 立軸ポンプ 1,000mm×1基 1,350mm×1基</td> </tr> </tbody> </table>							当初全体計画	全体計画の見直し	策定年次	昭和53年	平成15年	集水面積	約52ha	約64ha	水路延長	972 m (1.00m×1.20m ~ 3.00m×1.50m)	1,268 m (1.20m×1.50m ~ 4.00m×2.00m)	ポンプ場	磯部ポンプ場（既 設） 立軸ポンプ 600mm×1基 (S58.4月供用開始) 1,350mm×1基 (S63.4月供用開始)	磯部ポンプ場（既設改築） 立軸ポンプ 600mm×1基 1,350mm×1基 磯部ポンプ場（増 設） 立軸ポンプ 1,000mm×1基 1,350mm×1基
	当初全体計画	全体計画の見直し																		
策定年次	昭和53年	平成15年																		
集水面積	約52ha	約64ha																		
水路延長	972 m (1.00m×1.20m ~ 3.00m×1.50m)	1,268 m (1.20m×1.50m ~ 4.00m×2.00m)																		
ポンプ場	磯部ポンプ場（既 設） 立軸ポンプ 600mm×1基 (S58.4月供用開始) 1,350mm×1基 (S63.4月供用開始)	磯部ポンプ場（既設改築） 立軸ポンプ 600mm×1基 1,350mm×1基 磯部ポンプ場（増 設） 立軸ポンプ 1,000mm×1基 1,350mm×1基																		
	事業主体の再評価結果																			
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>当初全体計画作成(昭和53年)から25年余が経過し、また昭和62年度に一旦事業が完了したものの施設の一部は耐用年数を超過し改築の時期を向かえたため、全体計画の見直しを行うこととしました。全体計画の見直しは、市街化等による土地利用形態の変化に伴う排水区域の精査と計画基準(雨量強度式等)の変更を行い現行の計画基準に整合させており、三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行いました。</p>																				

2 事業の進捗状況と今後の見込み

磯部都市下水路は、昭和53年度から昭和62年度で一旦整備が完了し、磯部ポンプ場は600mmを昭和58年4月に1350mmを昭和63年4月に各々供用開始しており、当初全体計画におけるポンプ能力と水路整備の事業進捗率は100%となっています。

しかし、その後の経年変化により全体計画の見直しを行ったところ、排水路及びポンプ施設の再度の整備拡充を図る必要が生じました。そのため、平成17年度より測量設計に着手し、まず最下流にあるポンプの整備を先行し、順次、排水路の整備を行い、平成29年度に事業を完了する予定です。

3 事業を巡る社会経済状況等の変化

(1) 全体計画の変更

平成15年度に排水区域の精査を含め現行の計画基準(雨量強度式等)に整合させるため、全体計画の見直しを行っています。

(2) 周辺環境の変化

平成6年の志摩スペイン村開村以来、観光・リゾート地として志摩磯部駅を中心とした第3次産業の発展が目覚しく、当排水区の市街化の要因となっています。

(3) 財政状況の変化

近年の厳しい財政状況から、さらなるコスト縮減を進めることとしています。

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元の意向

4-1 費用対効果分析

昭和53年度より事業が進められていますが、今回最初の費用効果分析を行いました。

4-2 地元の意向

市街化等による土地利用形態の変化に伴う雨水流出量の増大が懸念されており、住民の生命と財産を守る本事業に対して、住民の要望も強く順調な事業の推進が望まれています。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減

既存施設(調整池等)の有効利用を図る。

5-2 代替案

流域を分割して新たな位置にポンプ場を建設する代替案が考えられるが、調整池用地を含め新たに用地取得が必要になることから、市街地での用地取得が困難であること等を加味し、現計画案が最良であると考えられます。

6 費用効果分析

B(便益) = 9,141.2 百万円

C(費用) = 8,858.2 百万円

B / C = 1.03

費用便益比は上記の通りであるが、本排水区には重要な公共施設や交通網及びライフライン等が集中しており、生命・財産・都市機能を確保するため定量化していない非計測項目を定量化した場合には、B/Cはさらに大きな値となることが想定される。

重要な公共施設等：小学校、中学校、高校、役場

災害弱者関連施設：幼稚園

交通網ライフライン：旧国道167号、近鉄志摩線、志摩磯部駅

事業主体の対応方針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えています。